



岩田 由美氏プロフィール

昭和 36 年岡山市生まれ。波多野爽波に師事。俳誌「青」を経て、「藍生」「屋根」に所属。1989 年、作品「怪我の子」にて第 35 回角川俳句賞受賞。1993 年、第 1 回藍生賞受賞。句集に『春望』（花神社、1996 年）、『夏安』（花神社、2002 年）、『花束』（ふらんす堂、2010 年）、著書に『奥の細道・旅をして名句』（学研マーケティング、1991 年）、『夫婦の歳時記』（共著、蝸牛社、1997 年）がある。

『花 束』

（自選15句）

岩田 由美

春なれや水の厚みの中に魚
春雷を聞き逃がしたるかと思ふ
墓交む似たやうな顔うち重ね
家からも見ゆる桜に歩み出づ
台歌に蝶一度は閉ちし翅広げ
緑蔭の幹といふ幹濡れてをり
風の音次第に近し今遽に
本持ちて明るき方へ避暑の宿
三人に見つめられあて西瓜切る
野分来ることに少年浮き浮きと
秋草の近づけばみな花つけて
水澄みて長き藻のその汚れやう
葉陰なる真葛の花に夕明り
目をつむるたび暗くなる秋の暮
二度となき雲のかたちよ冬の空